

License64.dll が削除され DESIGNER が起動できない

2023 年 9 月ごろより、DESIGNER が起動できないお問い合わせが増加しています。

弊社へのお問い合わせでは HP Wolf Security、ESET などでの検疫または削除されている事を確認しています。セキュリティソフトの誤検出により、Licnese64.dll が削除または検疫されファイルがなくなっているようです。

2023/10/12 に現象を回避したファイルを含む SP1.07 をアップロードしました。

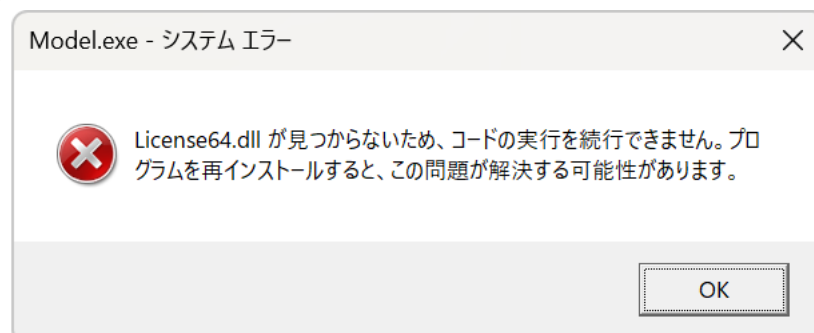
SP1.07 以降を適用していただくことで、現象を回避できます。

現象

DESIGNER を起動すると、スプラッシュが表示されたまま DESIGNER が起動しない。
(ESC キーで終了できます)



Kuraki¥Designer200¥model.exe を直接起動した場合、システムエラーが表示される。



確認方法

セキュリティソフトの警告または検疫リストに、ハッシュ値が表示されている場合は、以下のアルゴリズム毎のハッシュ値と比較して差異がなければ、出荷後の改ざんは無いと判断できるため誤検出と考えられます。

K-Ver20.0 DVD、SP1.00、SP1.01 License64.dll

アルゴリズム	ハッシュ値
SHA25	6DA6218C2449A5CC52383C1E86120E54CC4BEDB5415C66682331AC4331A7B67A
SHA-1	02BAA60F90E2253CE6BC3F09CFA1169D6A99F59D
MD5	69A50A0ABC6D69B61BC8B47CDE173430

K-Ver20.0 SP1.02、SP1.03 License64.dll

アルゴリズム	ハッシュ値
SHA25	D0092D6636B5E5BCAD0DFEF73906036E231CABBD3E6D933D43891E969BE2D60B
SHA-1	AE01EB79C7631F928E2F58C7814BA87D030472AC
MD5	B2033E7B1911B5159519664860E925C9

K-Ver20.0 SP1.04 ～ SP1.06 License64.dll

アルゴリズム	ハッシュ値
SHA25	873662B82B26758551B24BF67D514B391E4280F31A6F68624EB40B2D2AA1B04D
SHA-1	82660359E723F6DB46F8CE38B936BB29333F6A33
MD5	690CF6DBF7E3866AD889AC38282C7FC0

K-Ver20.0 SP1.06(2023/10/5 再アップロード版) License64.dll

アルゴリズム	ハッシュ値
SHA25	D0092D6636B5E5BCAD0DFEF73906036E231CABBD3E6D933D43891E969BE2D60B
SHA-1	AE01EB79C7631F928E2F58C7814BA87D030472AC
MD5	B2033E7B1911B5159519664860E925C9

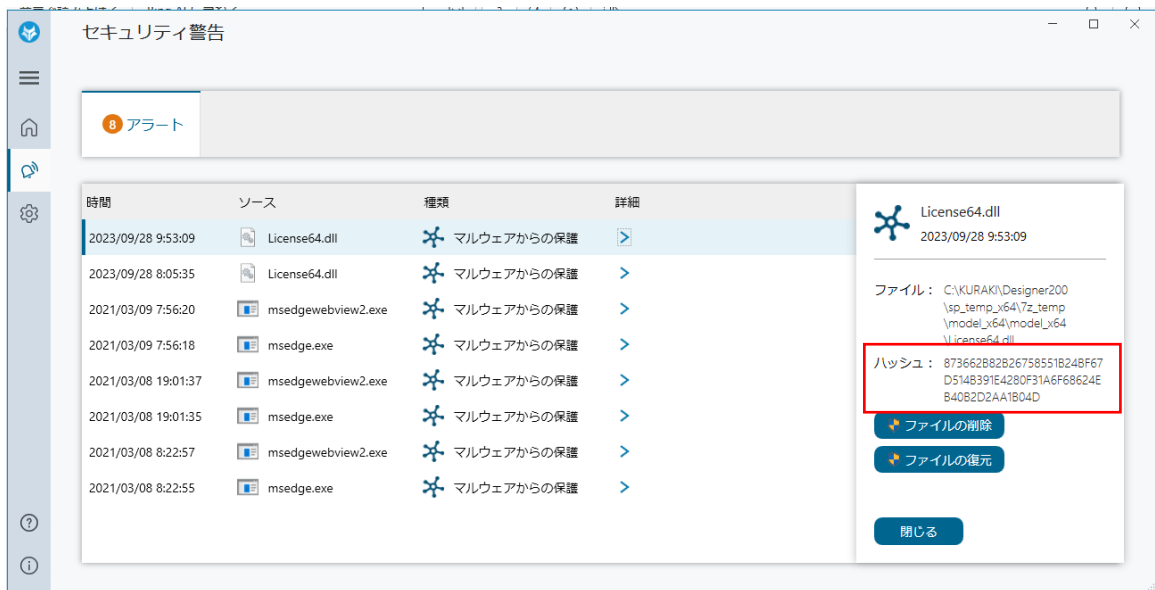
K-Ver20.0 SP1.06(2023/10/10 再アップロード版) License64.dll

アルゴリズム	ハッシュ値
SHA25	9E7604B28B97C1A644D0FFD57F7CF511A1343630F1BB2736F30FE7BFC216871B
SHA-1	7271DFAC7C344C8F4A99EF755067AB8209D2F767
MD5	062307170F86B97D284802FD8E68C1D4

K-Ver20.0 SP1.07 License64.dll (対策版 参考)

アルゴリズム	ハッシュ値
SHA25	9836BC8A562B767F83E40D1916A3EF28327BC8789132F103C01AE26970758A69
SHA-1	89BD9D7C5B4E6E36F362E5DB17DD798B1A301A20
MD5	F0F1DCF306229EDFE53C0EE5BC5BDF86

表示例： HP Wolf Security (このソフトは SHA256 のハッシュ値が表示されます)



回避方法（SP1.07 以降をあてない場合）

1. セキュリティソフトの警告または検疫リストに、License64.dll が無いかを確認する

1) リストに存在する場合

誤検出の可能性があります。

前途のハッシュ値と比較し、一致する事を確認してください。

2) リストにない場合

セキュリティソフトによるファイル削除でない可能性が高いです。

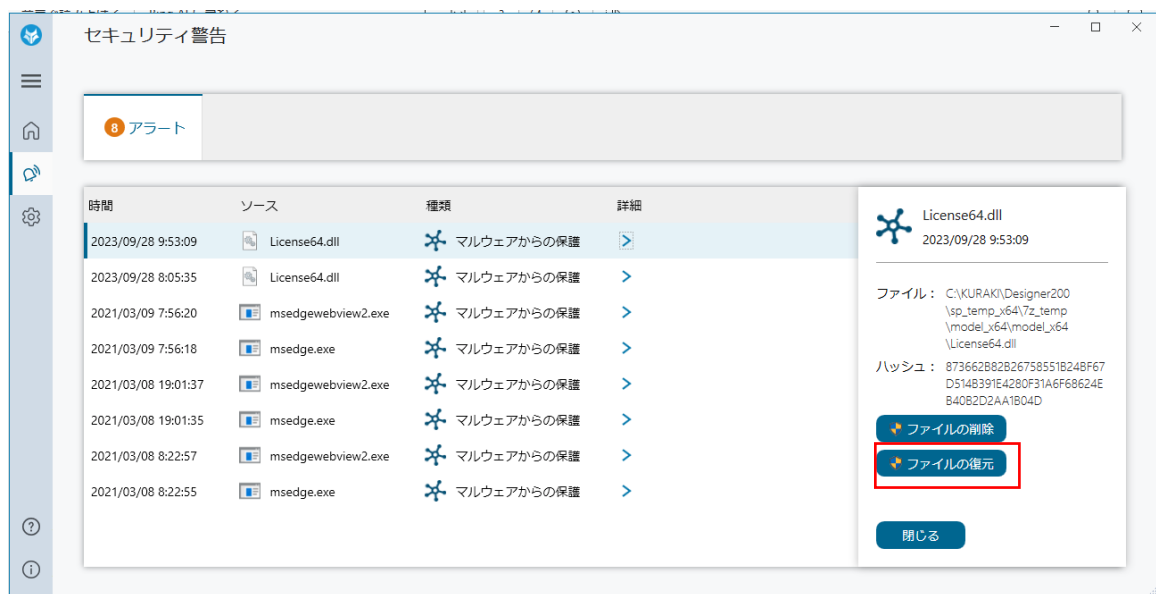
「4. サービスパックを適用しなおす」で復帰できる可能性があります。

2. ファイルの復元が可能かを確認する

セキュリティソフトの警告または検疫リストには、ファイルの「削除」「復元」の選択ができるものがあります。

「復元」が可能な場合は、ファイルの復元を試みてください。

例：HP Wolf Security



1) 復元できた場合

対応終了です。DESIGNER が起動できるか確認してください。

※セキュリティソフトにより、ファイル名に対して例外設定するものと、同一のハッシュ値のものを例外設定に追加するものがあるようです。継続してファイルが削除されてしまう場合は、後述の例外設定をご検討ください。

2) 復元が選択できない、または復元に失敗する場合

後述の「3. 例外設定」をご検討いただき、その後「4. サービスパックを適用しなおす」を行ってください。

3. 例外設定を追加する

セキュリティソフトの例外設定に **DESIGNER** フォルダーを追加する事により、誤検出を回避する方法です。

セキュリティソフトの設定変更については、自己責任においてご対処いただきますようお願いいたします。何等かの不具合が発生しても弊社では責任を負いかねますのでご理解の上での対処をお願いいたします。

手順を確認しているセキュリティソフトは以下の 2 つです。

[例外設定\(HP Wolf Security\)](#)

[例外設定\(ESET\)](#)

4. サービスパックを適用しなおす

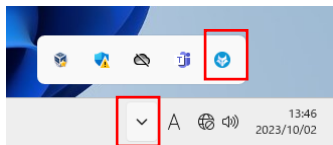
今回の事例の場合、サービスパックを適用しなおす事により、ファイルが再度適用されますが、セキュリティソフトにより削除される場合があります。

前途の例外設定を行ってから、サービスパックの適用をお試ください。

以上

例外設定(HP Wolf Security)

1. 通知領域からダッシュボードを開く



2. 設定/マルウェアからの保護を開く



3. フォルダーをスキャン対象から除外 に DESIGNER フォルダを追加する
赤矢印より、フォルダーを追加します。
※ C:\KURAKI\Designer200 を指定してください。

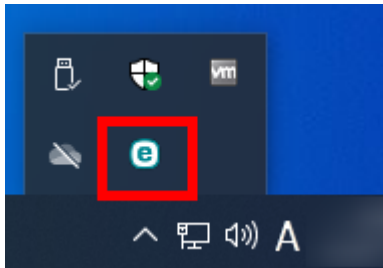


設定後は、Windows を再起動してください。

例外設定(ESET)

この手順は https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/168?site_domain=private の「パスを入力して特定のファイル / フォルダーの除外設定をしたい場合」を参考に作成しています。

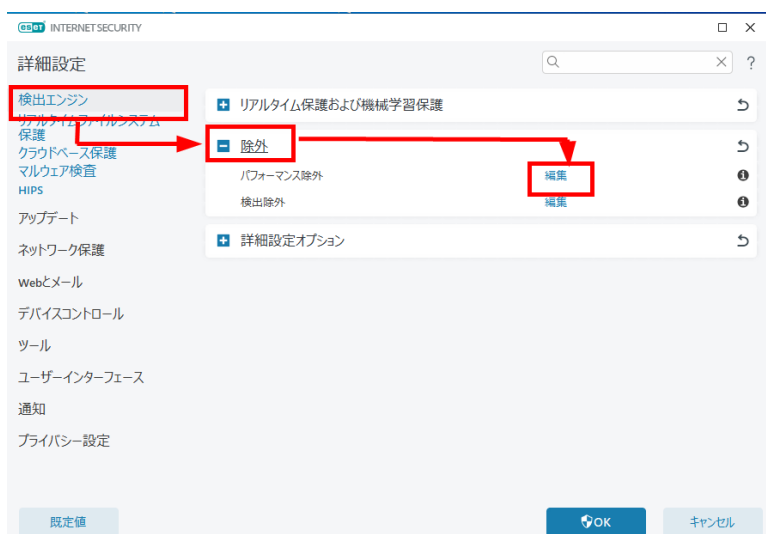
1. 通知領域から ESET 製品のアイコンをクリックする



2. 設定/詳細設定 をクリックし、設定ウィンドウを開く



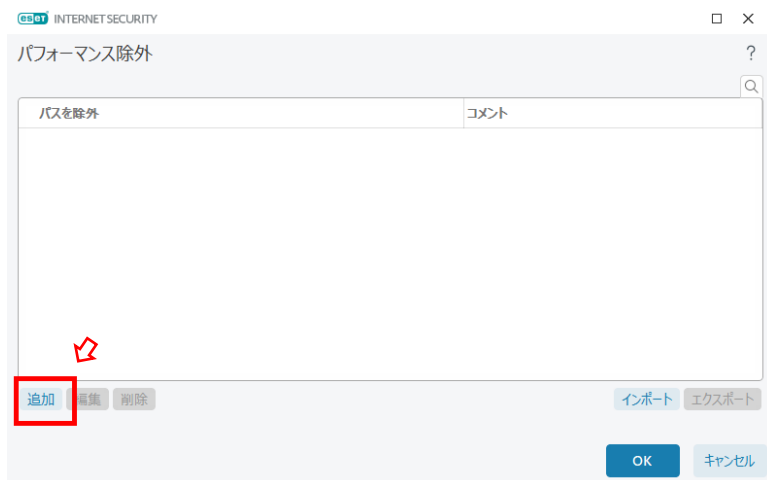
3. 検出エンジン/除外 を展開指定、パフォーマンス除外/編集をクリック



4. パフォーマンス除外画面でフォルダーを追加

赤矢印より、フォルダーを追加します。

※ C:¥KURAKI¥Designer200 を指定してください。



フォルダー追加後 OK ボタンをクリックし、パフォーマンス除外を閉じます。

設定後は、Windows を再起動してください。